

## 知事コメント

令和3年5月3日(月)

本日、沖縄県内で新たに57名の新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されました。直近1週間の新規感染者数は503人で、4月12日時点の791人と比べ、36.4%減少しており、まん延防止等重点措置に伴う対策に、県民の皆様が協力していただいている状況が着実に数字となって表れてきております。

しかしながら、1月に県独自の緊急事態宣言を発出したときと比べ、新規陽性者数の減少スピードは鈍くなっております。また、病床占有率は94.2%、非コロナ病床占有率は88.6%となるなど、医療提供体制は依然としてひっ迫した状態が続いております。

さらに、大型連休に突入し、多くの人の移動や接する機会が増えていることから、今後の感染拡大が懸念されます。ゴールデンウィーク中の入域観光客数は10万7,477人と推計されており、繁華街や観光地には県外から来訪されたとみられる方の姿も多く見受けられます。

また、県内外で多くの変異株が確認されており、引き続き警戒して対応していく必要があります。

変異株であっても、コロナウイルスであることには変わりありませんので、主な感染経路は飲食の場面です。そのため、県としては、県内全域の飲食店等に対して、営業時間の短縮を要請しており、特に10市5町については、まん延防止等重点措置に伴う要請を発出しています。

全ての飲食店が協力していただくことによって感染拡大防止の効果が高まりますが、県内全域を調査したところ、残念ながら約2%の店舗からは、協力をいただけていません。県としては、協力いただけていない店舗に順次、県職員が訪問し、現地を確認するとともに、改めて時短要請への協力を要請しています。しかしながら、それでも協力をいただけない店舗については、特措法に基づき、命令の発出及び店名の公表に向けて、諸手続を進めているところです。

県の衛生環境研究所において定期的に実施しているスクリーニング検査では、次第に変異株の割合が上昇しつつあります。

特に、N501Y変異株については、従来株よりも感染力が強く、若年層でも重症化しやすい特徴があります。関西圏では、流行状況は落ち着きつつありましたが、この変異株への置き換わりが進んだことにもなって、爆発的な感染拡大に繋がり、未だ減少の兆しは見えません。

このような状況を踏まえ、

- ・ 県外からの来訪者と一緒に食事することは避けてください。
- ・ 県外への帰省や、県外からの帰省は控えてください。  
どうしても必要なときは、事前にPCR検査を受けて下さい。
- ・ 県外からの来訪者と県民とが大人数で集まるイベントへの参加は、絶対に控えて下さい。

そして、既に県外との往来があった方、飲み会やパーティなど感染リスクの高い場面に参加した方については、少なくとも1週間は健康観察を行い、人との接触は極力控えて下さい。

変異株による感染拡大が懸念される中、同居家族以外との会食は、ご自分だけでは無く、大切な人の命や健康を危険にさらす行為であることを、強く認識していただきたいと思います。

そのため、

- ・ 食事は、一緒に暮らしている人とだけでとって下さい
- ・ 近くに人がいるときは、マスクを着用して下さい。
- ・ 外出先で物に触れた場合は、手指を消毒して下さい。
- ・ 人が集まる場所では換気をしてください。
- ・ 熱や咳などの症状がある場合は、外出しないでください。

このまん延防止等重点措置の期間中には、子ども達の課外活動や大会が制限されています。子どもの手本となるべき大人達が、不用意な行動で感染を拡げ、子ども達の活動が制限されることにならないよう自覚しなくてははいけません。

第4波とも言われるこの感染を抑え込むことができた後には、着実な経済回復とワクチン接種を進めていくとともに、認証プロジェクト等の感染対策により、感染症に強い社会づくりを目指してまいりたいと思います。ゴールデンウィーク期間中の過ごし方で、この後の状況は変わってまいります。

是非皆様のご協力をよろしくお願いいたします。